

ICLS TOKYO FORUM 2024 5年振りに開催し成功裡に終了！



JR総連は、9月26日～27日にかけて開催された国際労働者交流センター (ICLS)「TOKYO FORUM 2024」のホスト組合となり、準備を担うとともに、JR北海道労組・JR東労組・JR西労組・JR貨物労組が参加し、議論をつくりました。

今回のICLS FORUMは、5年振りの開催となり、「労働者の未来を切り拓く—自動化・安全・平和—」をメインテーマとして議論が行われました。

議論では、「技術近代化の経験の共有」、「無人オペレーションと人間労働」、「安全問題事例研究」、「戦争のないアジア太平洋地域を想像する」という4つテーマで議論しました。リモートで参加したミャンマーを含めて、11カ国から参加した約70名の仲間が活発な議論を行いました。

日本からは、自動運転と安全問題についてそれぞれ問題提起をしました。技術が進歩していく中でも、安全の最後の砦は、人間労働であることを、全体で確認することができました。

今回のフォーラムを通じて、国際連帯を継続する重要性を再確認し、ICLSの連帯をさらに強固なものとすることができました。

JR総連は今後も、現場のたたかいに根ざした国際連帯活動を推進していきます。

